

2025 年 2 月度 (第 418 回) ライフサイエンス分科会

開催日時：2025 年 2 月 20 日 (木) 14:00~16:00

開催場所：Zoom

参加人数：13 名

内容：Scopus AI のご紹介

記入者：三菱ケミカルリサーチ 井上瑠美

発表者：エルゼビア・ジャパン株式会社
シニアカスタマーコンサルタント
源栄克則(もとさかかつのり) 様

1. Scopus とは(

概要と特長～世界最大級の抄録・引用データベース

世界 7,000 以上の出版社の 28,900 誌の査読ジャーナル

(Elsevier, Springer Nature, Wiley, IEEE 等)

- ・ 1,200 万件以上の会議録
- ・ 340,000 タイトル以上のブックを収録
- ・ コンテンツは毎日更新 (8,700 誌以上の冊子体発行前論文を掲載)
- ・ OLDMEDLINE も含めほぼ全ての MEDLINE ジャーナルをカバー
- ・ Embase 収録タイトル(8,386 誌)の約 9 割をカバー

(アクティブなジャーナル:2025 年 1 月時点)

2. Scopus AI の概要及び機能の紹介

<活用場面(下記のような課題に有用です。)>

- ・ 新しい研究テーマの技術情報の収集に時間がかかる
- ・ 検索結果を何千、何万の文献リストで表示されてもそこから必要な文献を絞り込むのが難しい
- ・ 検索結果が要約で表示される場合、真偽の確認のために情報源を探すのに時間がかかる
- ・ 世界(英語)の科学技術情報の検索に日本語が使えない
- ・ 新規テーマのアイデア出しが難しい

<使用方法>

文章で会話形式

最大 30 文献から回答となる要約を生成し表示

元論文の提示と全文リンク

<出力>

①Summary 及び Expanded Summary

②Concept Map

③Foundation documents

④Topic experts

(新機能)Emerging themes β版

⑤Go deeper

3. Scopus AI の事例紹介

事例紹介 1 : 馴染みのない技術領域での KW、論点の洗い出しに活用

質問例 1 :

「ヘルスリテラシーの現状把握に必要な論点をできるだけ多く挙げて下さい。

回答は表形式で見やすく提示してください」

期待できる効果 : 論点を複数提示してくれるので抜け漏れ防止に役立つ。

事例紹介 2 : 複数のカテゴリーの調査をまとめて実施する時に活用

質問例 2 :

「肺の非小細胞癌について、ステージごとに最適な治療方法をできるだけ詳しく表形式でまとめて下さい」

期待できる効果 : 疾患のステージごとに最適な治療方法を表にしてくれるので文献調査にかかる時間を短縮できる。

4. 質問とまとめ

- ・アルゴリズムについて
- ・文献の検索対象は抄録
- ・プロンプトは 500 語 (言語に関係なく)、なるべく詳しい文章
- ・キーワードに数値を入れる場合は抄録に記載があれば回答あり
- ・現在は情報源 (Scopus 内) での限定は出来ない
- ・なるべく間違った回答はしないように調整している
- ・毎回結果が違うが、目的次第で複数回結果を利用する
- ・情報源 (Scopus) はすべて著作権をクリアしている。
- ・海外の方が AI に関しては寛容
- ・ピンポイントの情報、データ (遺伝子、タンパク質) 等も回答可能。

5. 連絡事項

- ・2025 年度について

グループ編成は今の形としメンバーが減ったことを受け開催回数を見直す。

12 月開催となった INFOPRO テーマ選定はこれからだが発表しない可能性もあるため、開催しない月を「調整月」としておき、企画 G の開催月の変更や INFOPRO 発表する場合に備える。

6. 次回

2025 年 4 月 17 日 (木) 内容 ; 未定

以上